

「災害時の子どもの様子から考える私たちの役割」

能登半島地震から3か月あまりが経ちます。

お正月の団らんが一瞬にして様変わりする様子を見ても「まさか自分が生きている間に地震は起こらないだろう」とどこかで思っていないでしょうか。

今回、阪神・淡路大震災をきっかけにNPOを立ち上げ、各地の災害現場でボランティアをしてこられた市民活動団体 防災一座代表 松野博さんにお話を伺い、災害時の子どもの心を守るためにできることを考えてみました。

《 災害時にみられる子どもの様子 》

大人の気持ち

不安
なんで私が
こんな目に...



周りの目が気になる

子どもも大人も
頭が真っ白

子どもの行動

パニックになる

子どもの心のうち

- ・あそびたい
- ・泣きたい
- ・つかれた
- ・何もしたくない
- ・こわい、不安

良い子で
いなぎや



急に泣き出す

役に立つ人
いなぎや

“平気”を装う



乱暴な
言葉づかいや
態度

がまんして
ほしい



お手伝いして

良い子で
いてほしい

大人が助かる子
でいてほしい

さわがないで

松野さんのお話から

「日常の積み重ねが災害時に活かされる」

震災前・震災時・震災後にわけてお話をしてくださいました。その中でも「生き延びるため」には当事者や周りの人たちが被災者の権利を尊重することが大切で、国際的には被災者を守るための国際基準によりすでに保障されているとのことで、日本の遅れを感じました。

特に、災害時に平常心を装い良い子で過ごした子どもたちは、のちのち心が壊れてしまうケースが多いそうです。普段と変わらない居場所の必要性や無理な手伝いをさせないために、周りの大人が子どもの権利を保障した対応をしななければならないと力を込めてお話されました。

日常生活の中で、子どもの意見に耳を傾け、対等な関わりを持つ大人がいれば子どもは安心して大人たちに気持ちや思いを伝える事ができるでしょう。災害時に子どもが子どもらしく過ごせる環境づくりは、そのような日常での関わりの積み重ねがあってこそ意味があることと思います。

普段から地域の子どもたちと関わりを持ち、その声を聴こうとすることこそが子どもを守る「備え」になると感じました。

被災者の尊厳を守るための国際基準

《人道憲章》

- ・尊厳ある生活への権利
- ・人道支援を受ける権利
- ・保護と安全への権利

《スフィア基準》

災害や紛争の被災者に対する人道支援活動のために策定された、「人道憲章と人道対応に関する国際的な最低基準」

《CPMS》

『人道行動における子どもの保護の最低基準』

《ユニセフ》

『子どもにやさしい空間ガイドブック』
→子どもが安心して過ごすことのできる居場所作りの重要性やその方法

いざという時のために体験してみませんか！

援助会員・依頼会員で、一度やってみましょう！！

災害伝言ダイヤル 171 体験サービス

- ・毎月 1日、15日 0:00~24:00
- ・正月三日 1/1 0:00 ~ 1/3 24:00

- ・防災週間 8/30 9:00 ~ 9/5 17:00
- ・防災とボランティア週間 1/15 9:00 ~ 1/21 17:00

依頼会員講習会・新規依頼会員登録会のお知らせ

四日市市ファミリー・サポート・センターでは、ファミリー・サポート活動の趣旨と大切にしている考え方を理解していただくために、援助会員も学んでいる基礎講座「子どもの権利」について、依頼会員になられる方にも受講いただいています。

「子どもの権利について」を受講して

感想が寄せられていますので、ご紹介いたします。

子どもは一人の人間として扱われる権利があることを忘れず育児をしていきたいと思いました。

子どもと親は対等な関係という言葉聞いてハッとしました。

子どもの権利条約の概念の話の中で「子どもは大人への準備期間ではない」に対してそういう風に考えたことがなかったので違う考え方を知ることができました。

子どもにとって必要なもの“評価されない居場所・ありのままを認めてもらえる場所”

- ・社会が子どもを育てるしくみづくりに当事者としてできることを考えたいと思いました。
- ・すでに1人の人格を持った人間として子どもと接していきたいと思いました。



☆ 2024年度の予定は下記のとおりです。

同日、新規会員登録も行いますので、入会をお考えの方は受講してください ☆

対象	すでに依頼会員として登録している人、またこれから登録したい人
日程	6月29日、9月14日、12月7日、2025年2月15日 すべて土曜日
時間	13:00~16:00 (講習のみの方は14:40終了)
	講習会終了後、希望される方は依頼会員の登録手続きができます。
会場	四日市市三浜文化会館
定員	保育の都合により、20名程度 (先着順に受け付けます)
参加費	無料
申込方法	TELにてお申し込みください (TEL 059-323-0023)
保育	有り/無料(事前にお申し込みください) 保育対象：満6か月～



登録を希望される人は以下のものをお持ちください
・登録者(保護者)の写真2枚 (縦3cm×横2.5cm)

できるところからはじめてみようファミサポ活動！

*援助会員になって協力！

依頼に対して援助会員が不足している状況が続いています。

空いた時間に地域の子育てに参加して、地域社会と関わりませんか？

子どもの育ちを見守り、一緒に活動して下さる方を募集しています。



*ファミリー・サポート・センターの広報誌を置いて協力！

より多くの方にファミリー・サポート活動を知っていただくため、広報誌「ぼわんぼわん」を置いて周知にご協力いただける、四日市市内の商店や企業などを探しています。

ご協力いただける際には、センターまでご連絡ください。